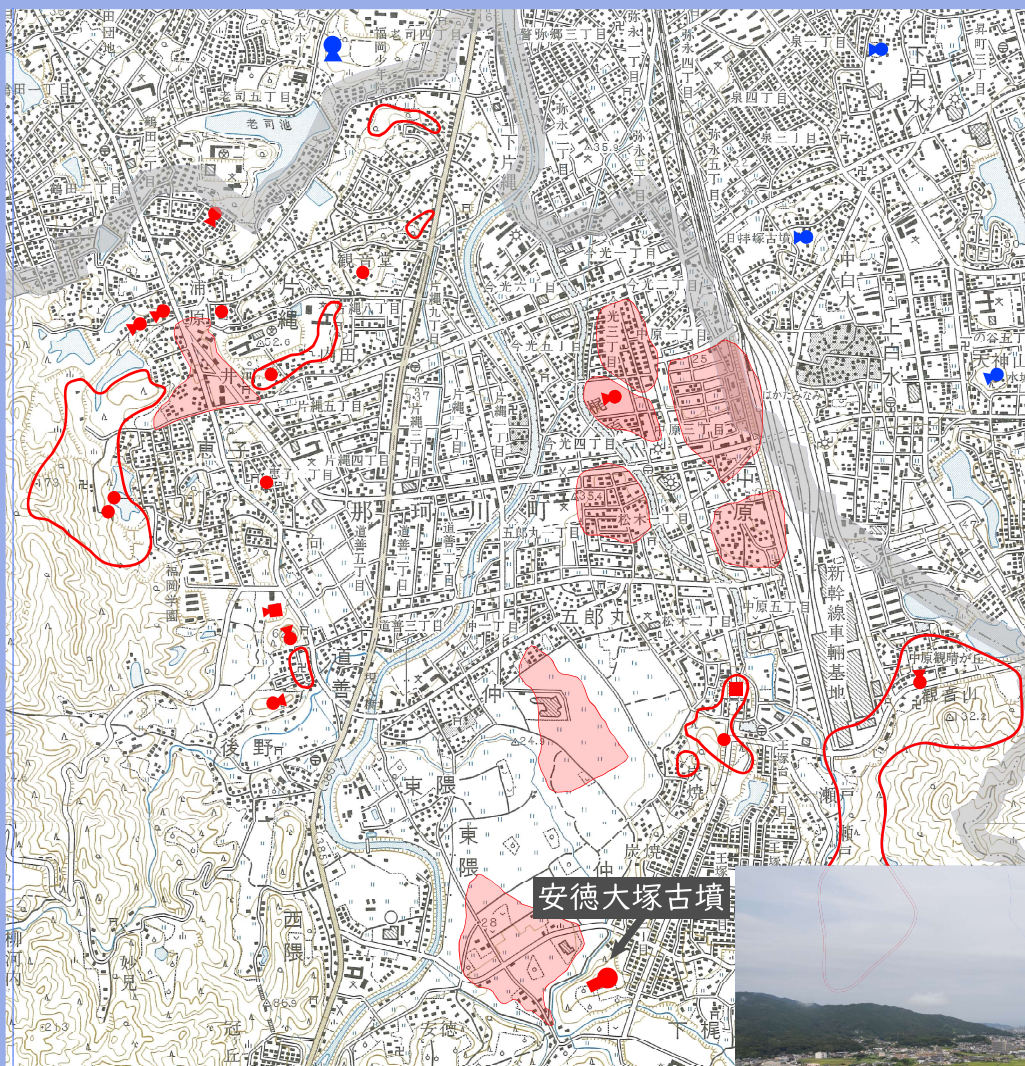


国史跡「安徳大塚古墳」発掘情報の発信にあたって

那珂川市内には、旧石器時代から現代にいたるまで人々の暮らしが絶えることなく繰り返され、その足跡は有形・無形の文化財として今日まで受け継がれてきました。

安徳大塚古墳は那珂川市大字安徳字大塚他の丘陵上に築かれた古墳時代前期（4世紀）の古墳です。全長64m、高さ8mほどで築造当時の姿を良好に残しています。2016（平成28）年に福岡平野、とりわけ那珂川中流域における古墳時代の首長動向を語る上で欠かせない遺跡として本市では初となる国史跡に指定されました。

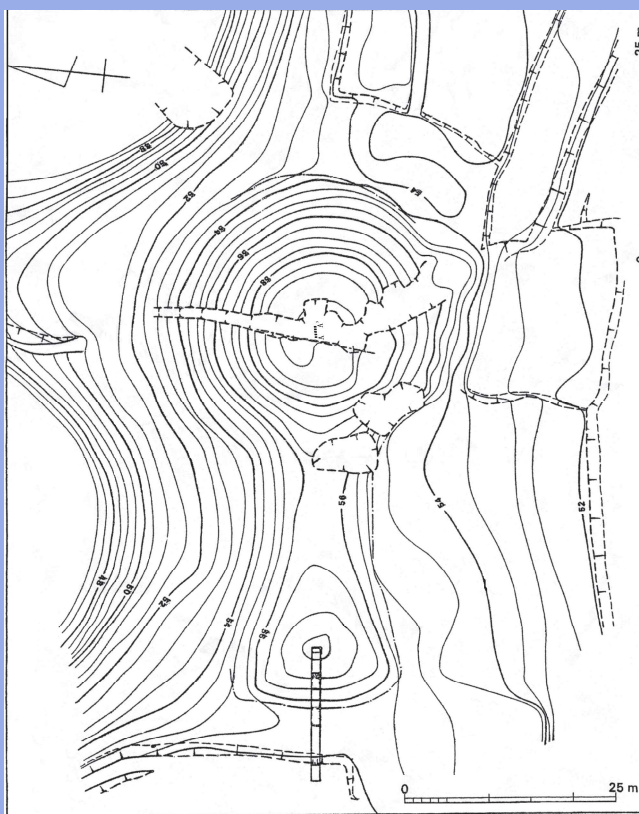
市の文化財課より、安徳大塚古墳を広く市民のみなさまに理解いただくために、現在実施しております安徳大塚古墳の発掘調査情報を発信します。



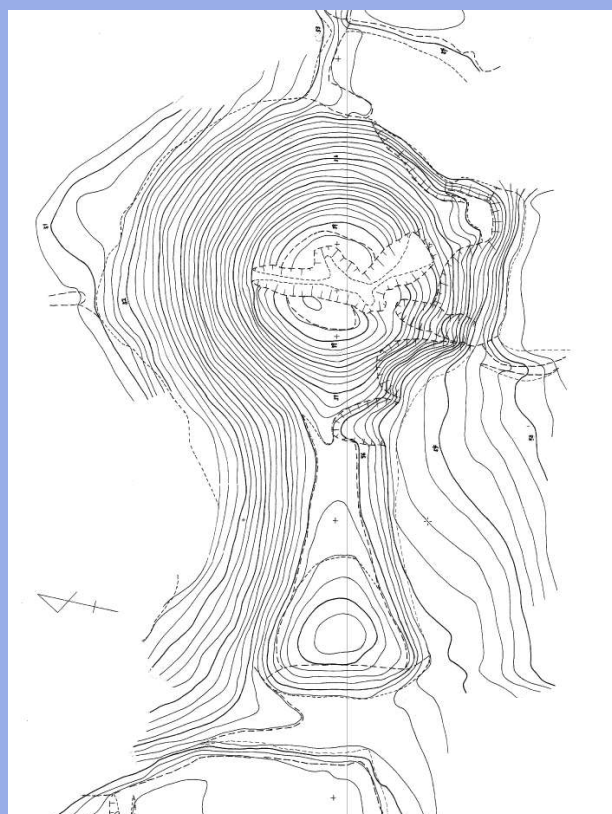
安徳大塚古墳と周辺の前方後円墳



写真 安徳大塚古墳と福岡平野
（2025年9月 九州文化財計測支援集団撮影）



1971(昭和46)年測量図



2025(令和7)年測量図

安徳大塚古墳の墳丘図の新旧比較

2025年9月30日現在の中間報告図では1971年の測量図よりも詳細な墳丘の形状がわかります。

国史跡安徳大塚古墳の調査に着手

安徳大塚古墳は1971(昭和46)年にその存在が知られるようになりました。直後に行われた発掘調査で全長64m、高さ8mを測り、前方部と後円部の両端を横切る周溝が掘られていることや、後円部の中央に埋葬施設(礫床粘土槨木棺)の痕跡、墳丘上からは壺形埴輪や円筒埴輪、古式土師器などの破片が多く出土しました。

本市では安徳大塚古墳が史跡に指定されたことを受け、今後の管理や将来の整備等に備えることを目的として、**本年度から古墳を詳細にわたって調査する事業に着手しました。**

6月頃から墳丘や周囲の雑木や竹を伐採するなどして古墳全体を見渡せるよう景観を整えるとともに1971(昭和46)年の1次調査以来**54年ぶり**に墳丘の詳細な地形測量を行いました。

また、9月下旬から墳丘各所で調査用トレンチ(試掘坑)の掘削を開始し古墳の規模や構造を確認する作業を進めています。

今後の取組みについて

本年度の現地調査は2月頃まで実施する予定で、**現地調査の終了後、説明会の開催**を予定しています。(詳細は決まり次第、ニュースターや市のHP等でお知らせします。)

また、11月29日(土)からミリカローデン那珂川にて『那珂川黎明2025』を開催していますのでぜひご覧ください。

編集・発行
お問い合わせ先

那珂川市教育委員会文化財課保護担当
〒811-1241
福岡県那珂川市後野1-5-1(那珂川市中央公民館内)
Tel.092-952-2092
※お問い合わせは平日月曜から金曜までの8時30分から17時まで